

**原料費調整(スライド)制度に基づく
平成18年1月～3月のガス料金について
(41.8605 ㏎ジュール/m³地区)**

平成17年10月28日
北陸ガス株式会社

北陸ガスは、「原料費調整(スライド)制度」に基づいて、平成18年1月～3月検針分に適用される従量料金単価の見直しを行いました。

その結果、別紙のとおり、平成17年10月～12月検針分に比べて従量料金単価を**1 m³あたり+1.386円(税込)調整**させていただくこととなりました。

ただし、新潟市黒埼地区(37.9674735 ㏎ジュール/m³)のお客さまのガス料金については変更はございません。

今回のガス料金の調整は、平成17年7月～9月のLNGおよびプロパン平均価格(貿易統計値)により算定された平均原料価格が、前期(平成17年4月～6月)との比較で上昇したことによるものです。

なお、平成18年1月～3月検針分に適用する料金につきましては、弊社の本社および支社等の店頭での掲示や、検針時に各戸にお届けする「ガス使用量のお知らせ(検針票)」などで、お客さまにお知らせいたします。

以上

< 問い合わせ先 >
北陸ガス株式会社
総合企画グループ
TEL 025-245-2214

料金表（平成18年1月～3月）

一般契約早収料金（各月のご使用量に応じてA・B・C・Dいずれかの料金表が適用されます）

現行の従量料金単価（平成17年10月～12月検針分）と比較した場合、1m³あたり+1,386円(税込)の調整となります。

なお、基準従量料金単価に対して+2,005.5円(税込)調整して料金を算定いたします。

	月間使用量 区分	基本料金	従量料金		
			H18.1月～3月	基準従量料金単価	H17.10月～12月
料金表A	0～20m ³ まで	546.00円 (520円)	110.6805円 (105.41円)	108.6750円 (103.50円)	109.2945円 (104.09円)
料金表B	20m ³ 超～ 100m ³ まで	817.95円 (779円)	97.0830円 (92.46円)	95.0775円 (90.55円)	95.6970円 (91.14円)
料金表C	100m ³ 超～ 350m ³ まで	972.30円 (926円)	95.5395円 (90.99円)	93.5340円 (89.08円)	94.1535円 (89.67円)
料金表D	350m ³ 超～	3,133.20円 (2,984円)	89.3655円 (85.11円)	87.3600円 (83.20円)	87.9795円 (83.79円)

下段（ ）内は税抜
基本料金は変わりません

< ガス料金の計算式 >

$$\text{ガス料金} = [\text{基本料金 (税抜)} + \text{ガス使用量} \times \text{従量料金単価 (税抜)}] + [\text{消費税等相当額}]$$

[] 内で円未満を切り捨てます

モデル家庭における影響

1ヵ月のご使用量	H18.1月～3月 適用料金	H17.10月～12月 適用料金	増減額	増減率
50m ³	5,672円/月 (5,402円/月)	5,602円/月 (5,336円/月)	+70円/月 (+66円/月)	+1.25% (+1.24%)

モデル家庭とは、月間のガスご使用量が50m³のご家庭をいいます
下段（ ）内は税抜

お客さまへの周知

- 原料価格につきましては、当社一般ガス供給約款に基づき、当社の本社および支社等の店頭において掲示いたします。
- 個別のお客さまには、見直し後の従量料金単価を検針時に各戸にお届けする「ガス使用量のお知らせ(検針票)」などで、あらかじめお知らせいたします。

平均原料価格と調整単位料金の算定について

	H17.7月~9月 原料価格	(基準原料価格)	(H17.4月~6月 原料価格)
LNG平均価格(貿易統計値)	35,790 円/t	29,940 円/t	31,720 円/t
プロパン平均価格(貿易統計値)	47,500 円/t	42,830 円/t	46,970 円/t
平均原料価格	36,100 円/t	30,260 円/t	32,090 円/t

平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}
 < \text{平均原料価格} > &= \text{LNG平均価格(平成17年7月~9月貿易統計値)} \times 0.9807 \\
 &\quad + \text{プロパン平均価格(平成17年7月~9月貿易統計値)} \times 0.0210 \\
 &= 35,790 \text{ 円/t} \times 0.9807 + 47,500 \text{ 円/t} \times 0.0210 \\
 &= 36,096.753 \text{ 円/t} \\
 &\quad \text{(10円未満四捨五入)} \\
 &= 36,100 \text{ 円/t}
 \end{aligned}$$

原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}
 < \text{原料価格変動額} > &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\
 &= 36,100 \text{ 円/t} - 30,260 \text{ 円/t} \\
 &= 5,840 \text{ 円/t} \text{ [1,510円(調整バンド)を超えているため調整します]} \\
 &\quad \text{(100円未満切捨て)} \\
 &= 5,800 \text{ 円/t}
 \end{aligned}$$

調整単位料金(1m³あたり)の算定

$$\begin{aligned}
 < \text{調整単位料金} > &= \text{基準単位料金(税抜)} + 0.033 \text{ 円} \times \text{原料価格変動額} / 100 \text{ 円} \\
 &= \text{基準単位料金(税抜)} + 0.033 \text{ 円} \times 5,800 \text{ 円} / 100 \text{ 円} \\
 &= \underline{\text{基準単位料金(税抜)} + 1.914 \text{ 円}}
 \end{aligned}$$

小数点第3位以下の端数は切り捨て

原料価格の変動100円につき、従量料金単価を1m³あたり0.033円調整します。

上記計算の結果、

基準従量料金単価に対し、1m³あたり+2.0055円(税込)[+1.91円(税抜)]調整します。

現行の従量料金単価(平成17年10月~12月検針分)と比較した場合、1m³あたり+1.386円(税込)の調整となります。

原料費調整(スライド)制度の概要

LNGおよびプロパン原料価格の変動に応じて、3ヵ月ごとにガス料金の従量料金単価を調整する制度です。

「基準平均原料価格(30,260円/t)」と「平均原料価格(3ヵ月ごとのLNGおよびプロパン平均価格(貿易統計値)により算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、1m³当たり0.033円従量料金単価を調整します。

料金の小幅かつ頻繁な調整や、大幅な変動を避けるための仕組みを設けています。

- ・「平均原料価格」と「基準平均原料価格」との差額が、1,510円(調整バンド)以内であるときは、ガス料金の調整は行われません。
- ・「平均原料価格」が、48,420円(上限値)を超えた場合には「平均原料価格」は48,420円であるとしてガス料金の調整を行います。

1月~3月の3ヵ月間の原料費変動結果を7月~9月検針分に反映します。

4月~6月の3ヵ月間の原料費変動結果を10月~12月検針分に反映します。

7月~9月の3ヵ月間の原料費変動結果を翌年1月~3月検針分に反映します。

10月~12月の3ヵ月間の原料費変動結果を翌年4月~6月検針分に反映します。